dentsu

2012年度　決算概況

取締役 副社長執行役員　中 本　祥 一

2013年5月17日

このプレゼンテーション資料には、2013年5月17日現在の、経営陣の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。経済情勢などに関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

❖連結決算の概況

金額単位：百万円

連結損益計算書より	2011年度 実績	2012年度 実績	2012年度 前年同期比 増減(%)	2012年度 業績予想比 (対2/15増減%)
売上高	1,893,055	1,941,223	+2.5	▲ 1.0
売上総利益	332,807	345,940	+3.9	▲ 1.9
売上総利益率	17.6%	17.8%	+0.2ポイント	
販売費及び一般管理費	280,829	287,474	+2.4	▲ 1.7
営業利益	51,977	58,466	+12.5	▲ 2.6
オペレーティング・マージン	15.6%	16.9%	+1.3ポイント	
経常利益	62,843	59,027	▲ 6.1	+3.4
税金等調整前当期純利益	58,459	63,310	+8.3	▲ 2.7
当期純利益	29,573	36,336	+22.9	▲ 4.4
包括利益	55,344	59,605	+7.7	

※業績予想比は、2/15発表の業績予想との差異

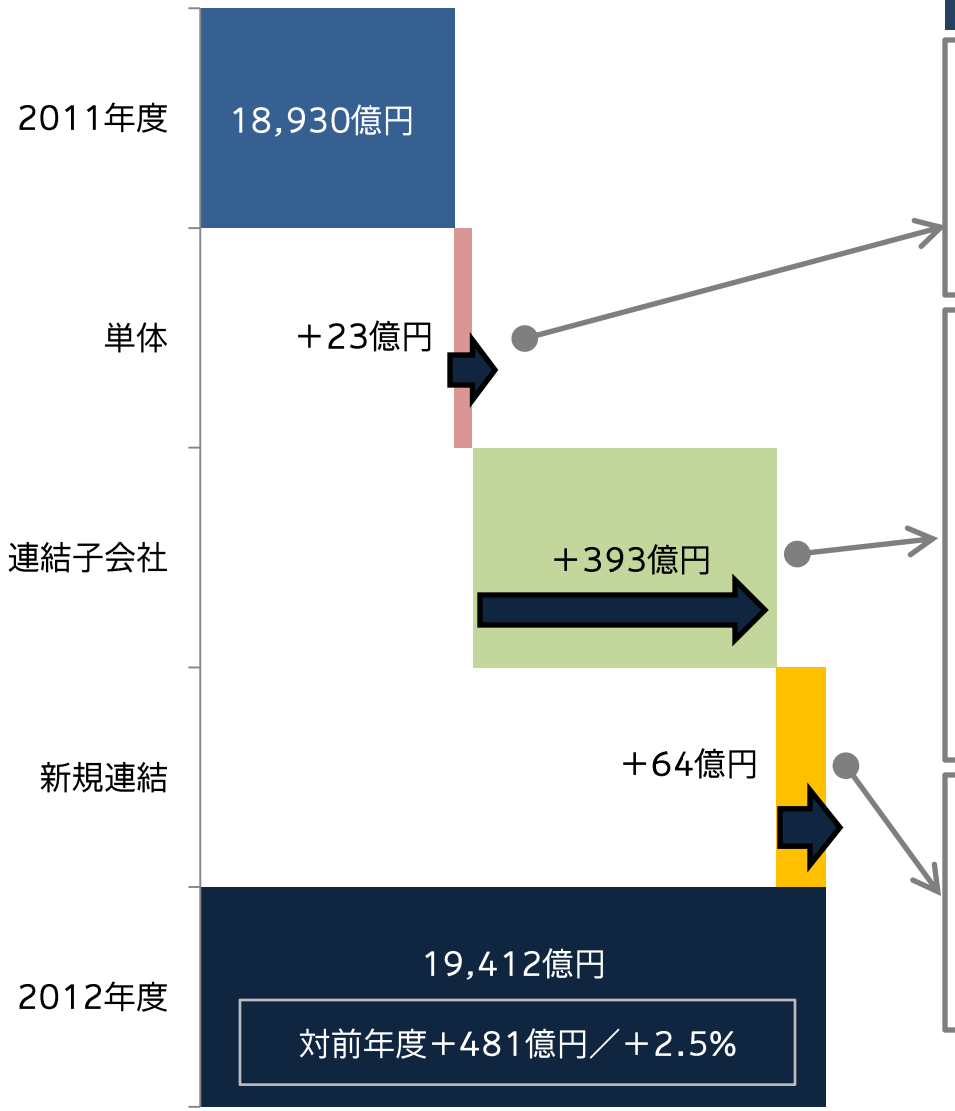
※オペレーティング・マージン＝営業利益÷売上総利益×100

❖連結業績の推移

金額単位：百万円

2012年度	上　期	前年同期比増減（%）	下　期	前年同期比増減（%）	年　度	前年同期比増減（%）
売　上　高	921,036	+6.7	1,020,187	▲0.9	1,941,223	+2.5
売上総利益	162,654	+8.9	183,286	▲0.1	345,940	+3.9
売上総利益率	17.7%	+0.4ポイント	18.0%	+0.2ポイント	17.8%	+0.2ポイント
販　管　費	140,543	+4.3	146,930	+0.6	287,474	+2.4
営業利益	22,110	+51.9	36,355	▲2.8	58,466	+12.5
オペレーティング・マージン	13.6%	+3.9ポイント	19.8%	▲0.6ポイント	16.9%	+1.3ポイント
経　常　利　益	19,784	+0.9	39,416	▲8.9	59,027	▲6.1
税金等調整前当期純利益	17,727	+14.2	45,583	+6.2	63,310	+8.3
当期純利益	9,349	+16.8	26,987	+25.1	36,336	+22.9

❖連結売上高



主な増減要因

❖単　　体

・ロンドン五輪など、広告出稿が増加

・上期好調（エコカー減税）、下期伸び悩み（飲料低調）

地デジキャンペーン終了、家電低調、年度全体に影響

❖子 会 社

・地域電通のうち、九州除く4社が増加

・電通ホールディングスＵＳＡ（DHUSA)増加

●主に、電通マクギャリーボウエン（ＭＢ社）、
電通イノベーションインタラクティブ（ＩＩ社）、
電通アメリカ、電通アティックなどが好業績

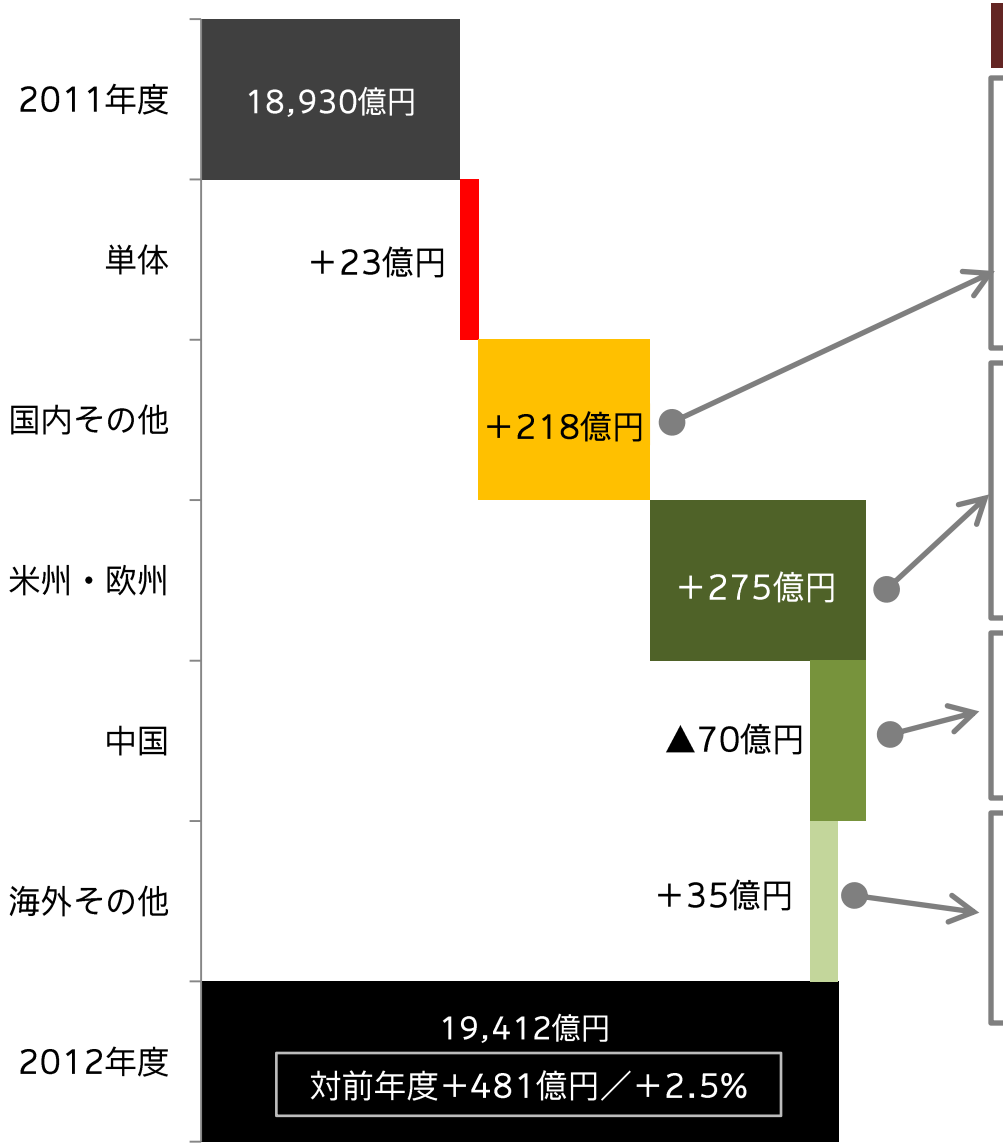
・ほか、電通スマート、電通タイランドなど増加

❖新規連結

・Ｂｏｓ社が売上高増に貢献
（13社 新規連結）

（注）・売上高増減額は、内部取引控除後の金額を使用

【補足】所在地別売上高の増減要因



主な増減要因

❖国内グループ会社

［増加］・中堅クライアントの伸び

［減少］・前年モーターショー、家電エコポイント反動

［減少］・各地電力会社の出稿減少

❖米州・欧州

［増加］・ＭＢ社、ＩＩ社、電通アメリカ、
・電通アティック 等 が好業績

❖中国

［減少］・ 大手取引先の予算減　等

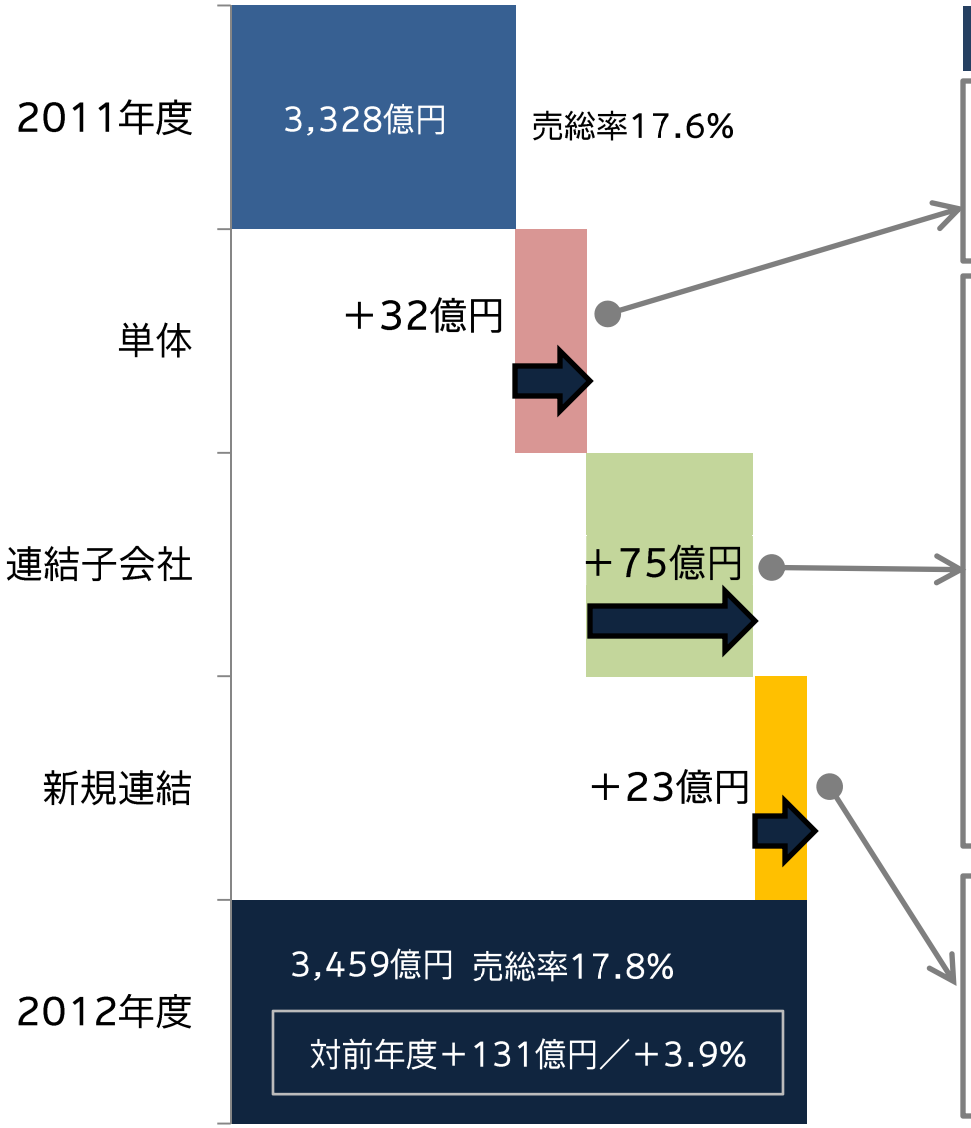
❖海外その他

［増加］・シンガポール、タイ、ベトナム　等

［減少］・インド、台湾、韓国　等

（注）・売上高増減額は、内部取引控除後の金額を使用
・米州・欧州には、ラテンアメリカを含みます。

❖連結売上総利益



主な増減要因

❖単　　体

・売上高増加にともなう増加

❖子 会 社

・ISID増加

・地域電通のうち、北海道除く4社が増加

・DHUSA増加

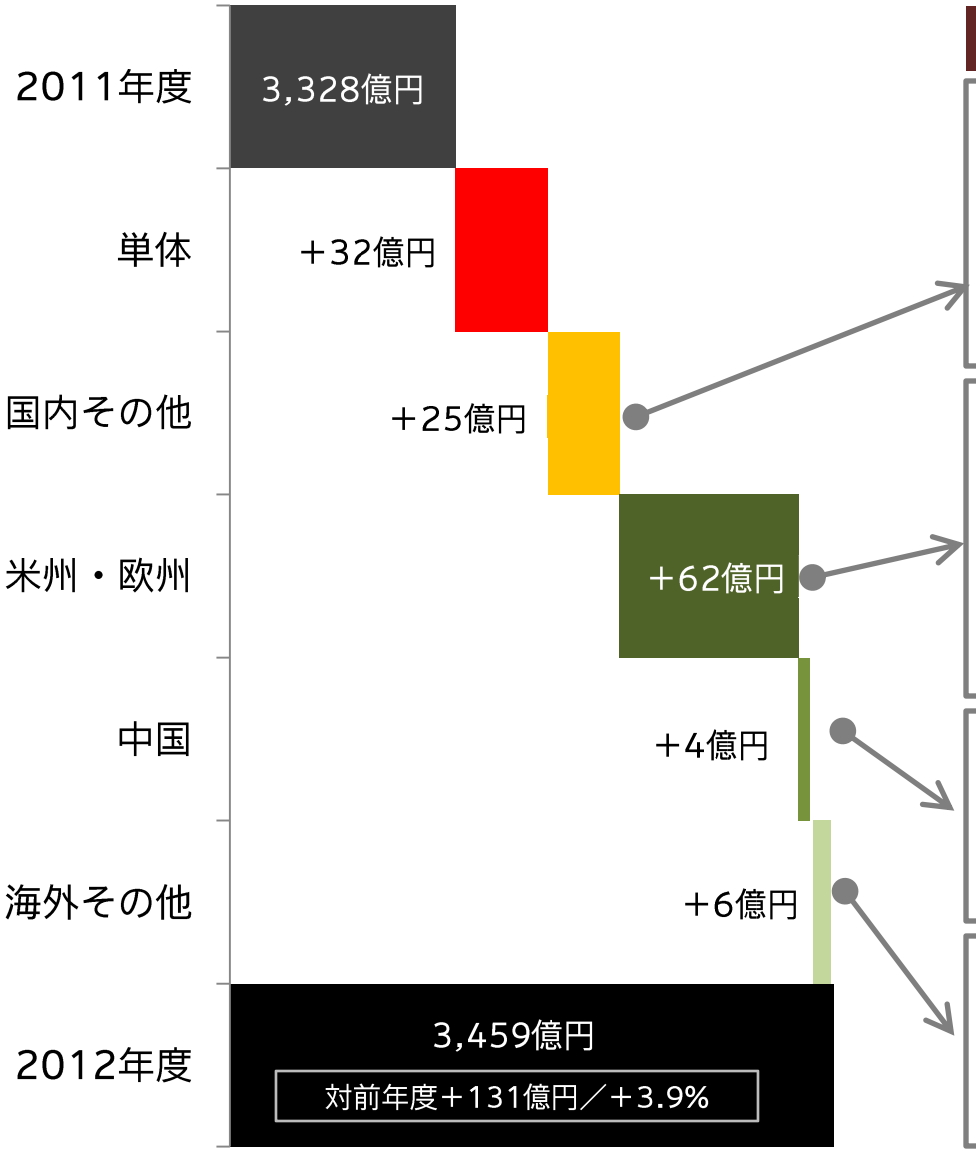
●ＭＢ社、ＩＩ社、電通アメリカ、電通アティックが好調

・ほか、電通タイランドなど増加

❖新規連結

・Ｂｏｓ社、ラブ社などが増加に貢献

【補足】所在地別売上総利益の増減要因



主な増減要因

❖国内グループ会社

［増加］　・中堅クライアントの伸び
　　・デジタルやプロモーション領域

❖米州・欧州

［増加］　・ＭＢ社、ＩＩ社、電通アメリカ、
　　電通アティック 等が好業績

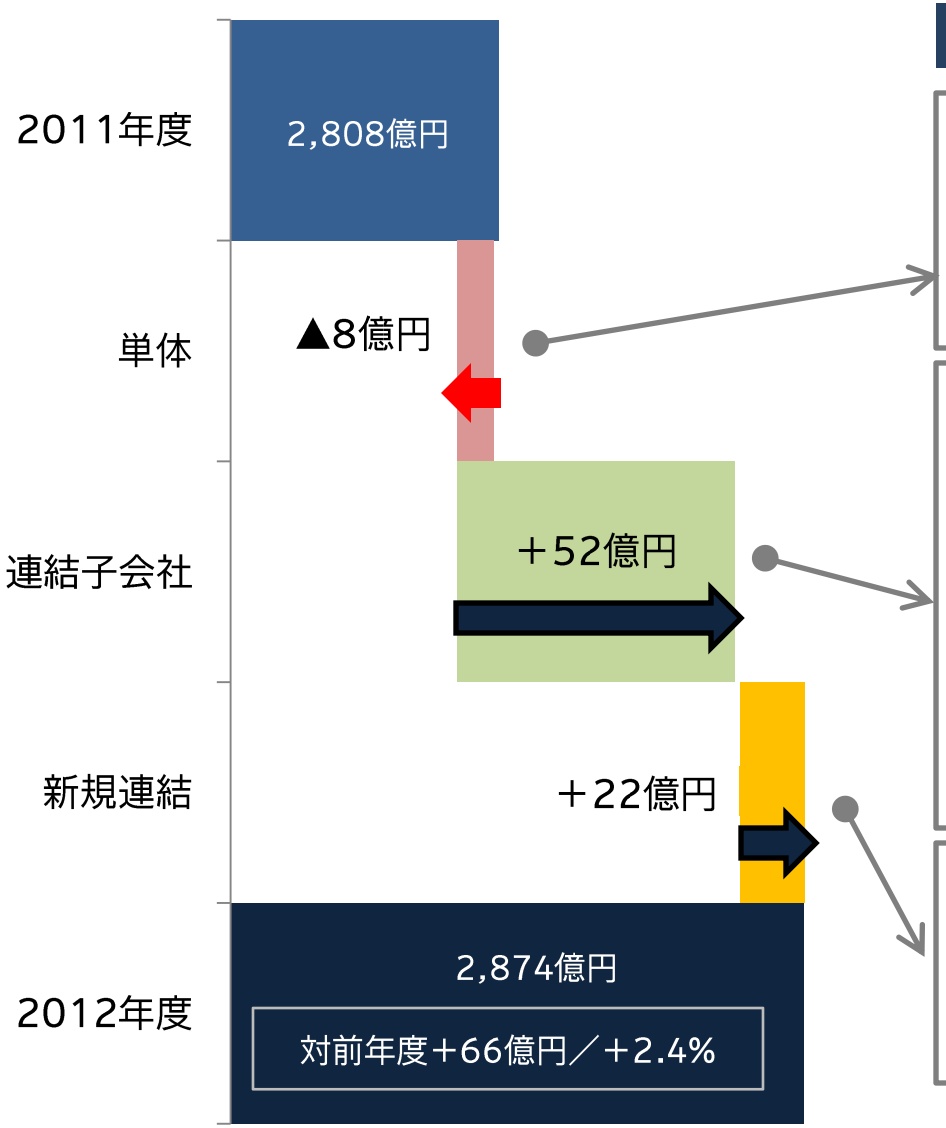
❖中国

［増加］　・原価低減により、収益性増

❖海外その他

［増加］　・タイ　等
［減少］　・インド　等

❖連結 販管費（販売費及び一般管理費）



主な増減要因

❖単　　体

・従業員数が増え、人件費は増加したが、
営業費、減価償却費は減少

❖子 会 社

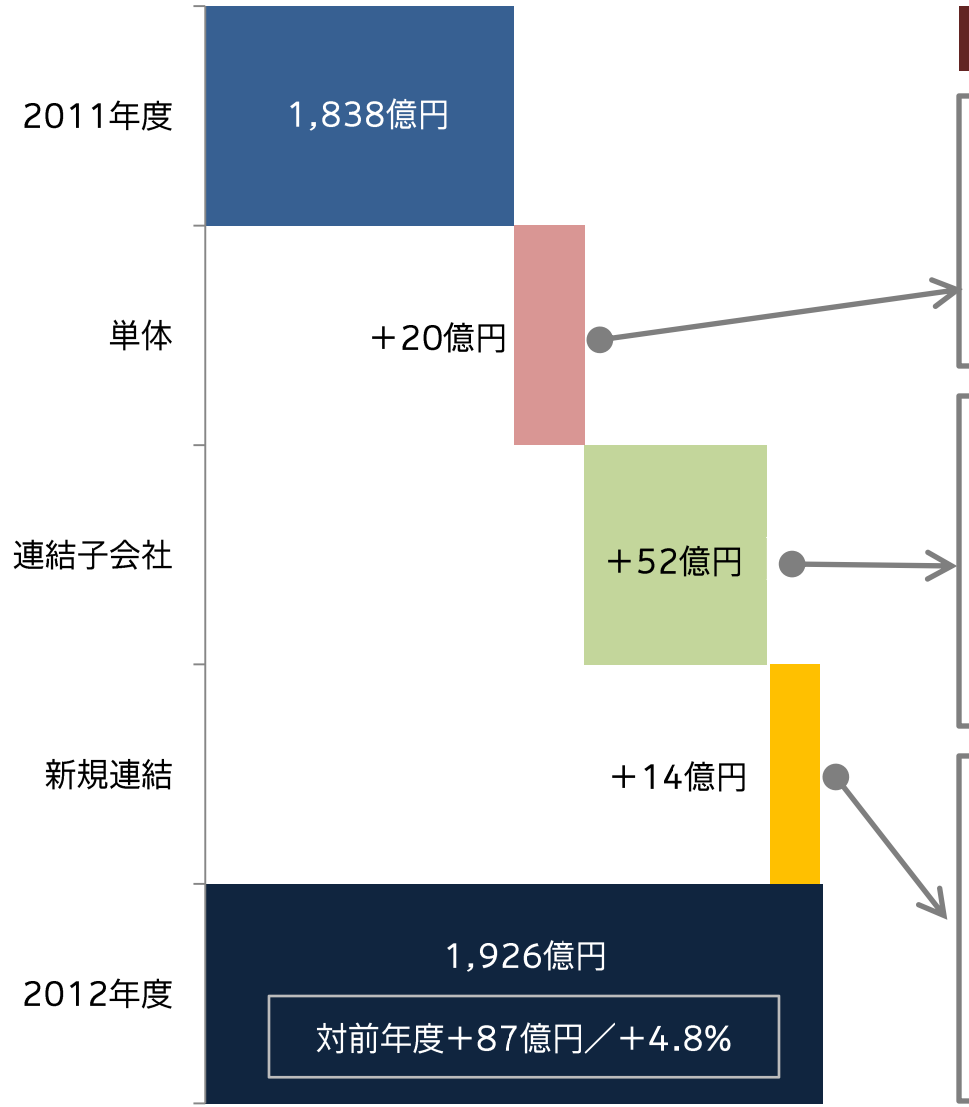
・地域電通のうち、北海道除く4社が増加

・DHUSAが大幅に増加
※特に、ＭＢ社の「のれん償却」増加

❖新規連結

・Ｂｏｓ社、ラブ社などが増加

【補足】人件費の増減要因



主な増減要因

❖単　　体

［増加］・社員数の増加

❖子 会 社

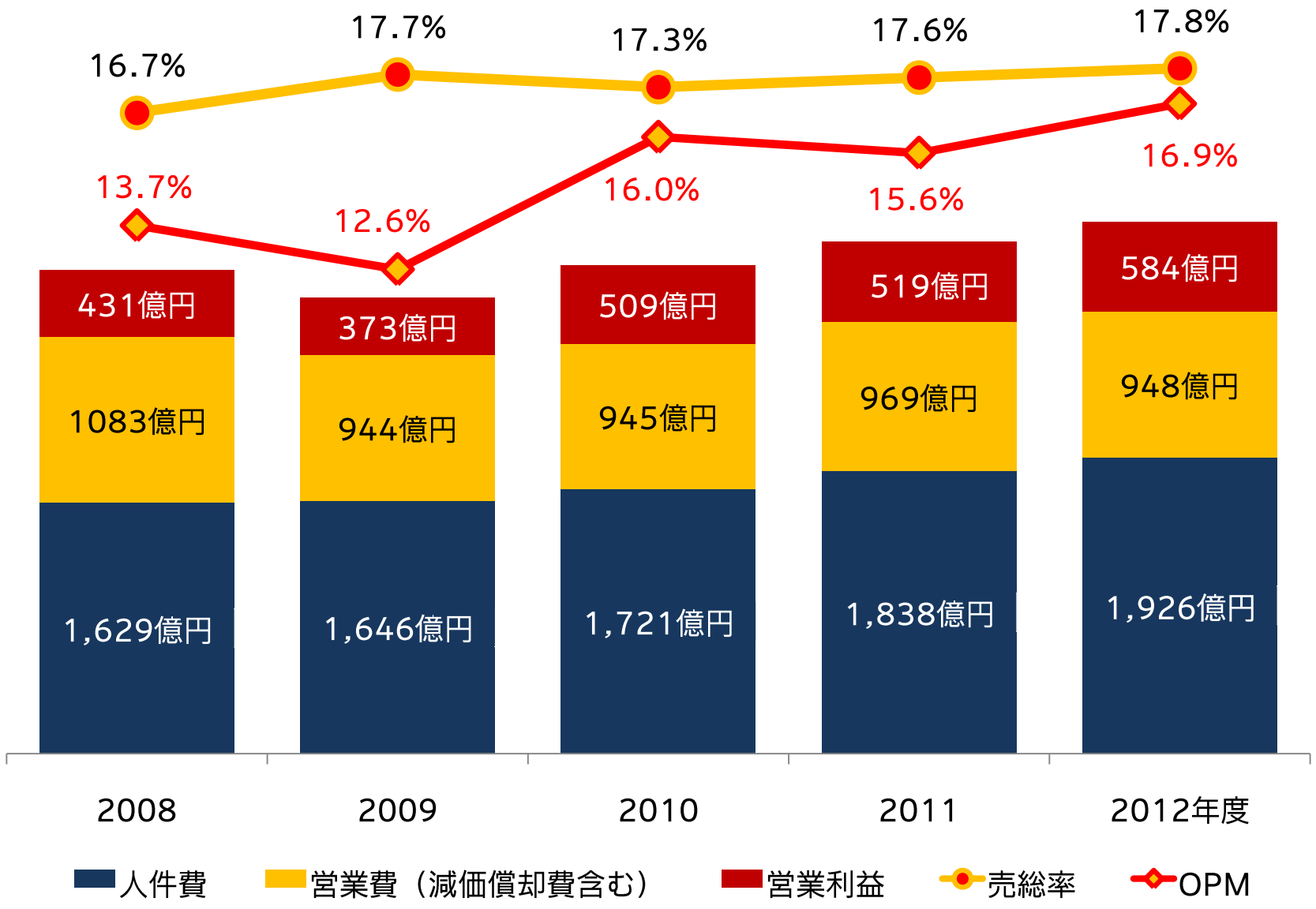
［増加］・DHUSA、事業拡大に伴い社員数が増加
（約340名増加）
・地域電通、北京電通が微増

［減少］・電通ワークス

❖新規連結

［増加］・Ｂｏｓ社、ラブ社、電通メディア・インド
電通メビウス　等

❖連結 売総率、オペレーティング・マージンの推移



❖連結 営業外損益～特別損益～当期純利益

dentsu

金額単位：百万円

連結損益計算書より	2011年度 実績	2012年度 実績	2012年度 前年同期比増減(%)
営業利益	51,977	58,466	+12.5
営業外損益	10,865	560	▲94.8
営業外収益	15,880	10,016	▲36.9
営業外費用	5,014	9,455	+88.6
経常利益	62,843	59,027	▲6.1
特別損益	△4,384	4,283	-
特別利益	7,194	13,854	+92.6
特別損失	11,578	9,571	▲17.3
税金等調整前当期純利益	58,459	63,310	+8.3
法人税等	26,954	24,561	▲8.9
少数株主損益	1,932	2,412	+24.9
当期純利益	29,573	36,336	+22.9

主な増減要因

❖営業外収益

- 持分法投資利益の減少（▲61億円）
  （うちP社減少分▲59億円）

❖営業外費用

- 為替差損の増加　（＋40億円）
- イージス契約関連　（＋6億円）

❖特別利益

- 投資有価証券売却益　（＋65億円）

❖特別損失

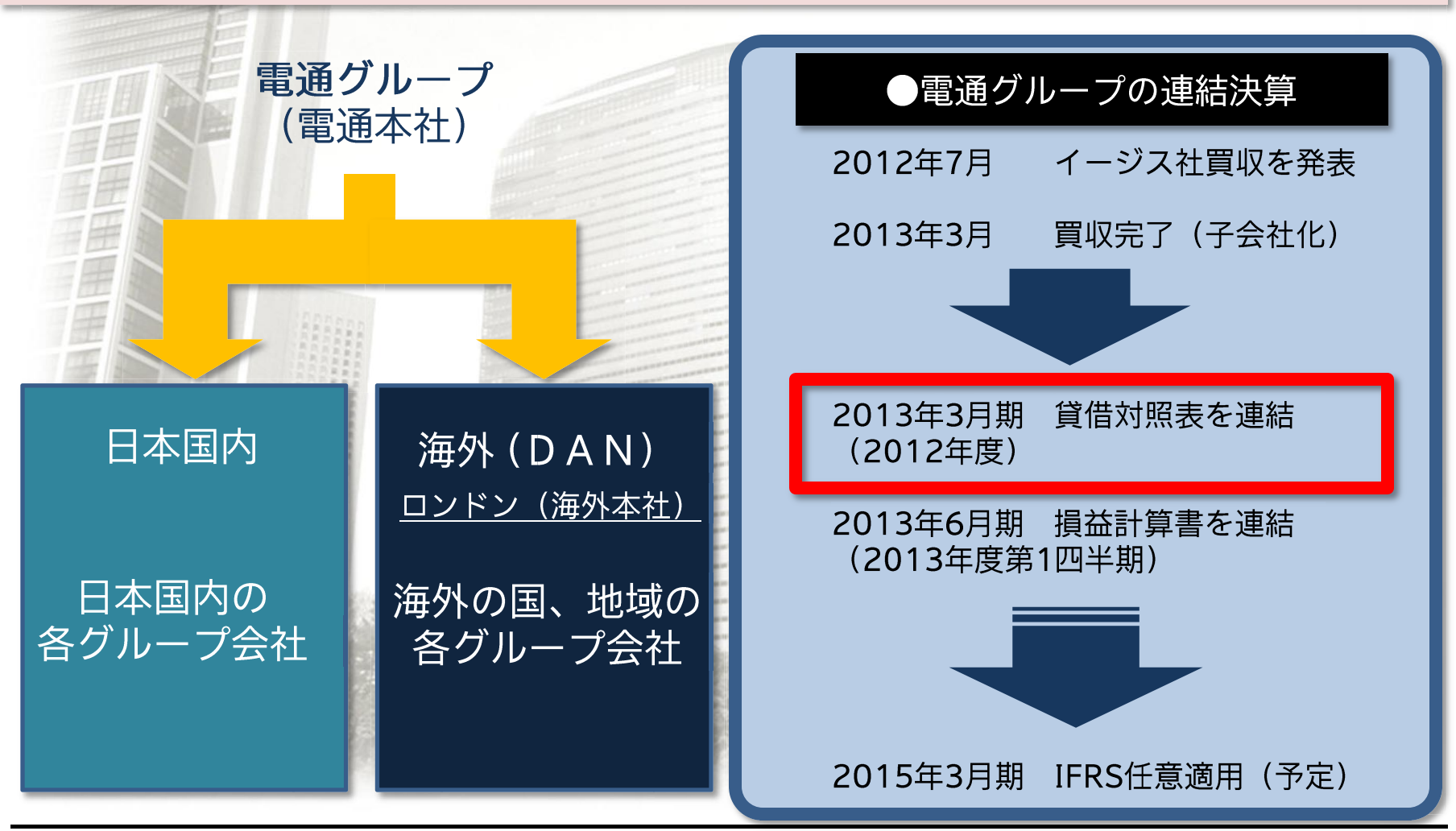
- 訴訟損失引当金繰入額（＋25億円）
- のれん償却額　（＋14億円）

[前年]事業譲渡損（45億円）
[前年]退職給付制度改定損（11億円）

★Dentsu Aegis Network Ltd.(略称ＤＡＮ)設立について

dentsu

2013年3月26日、英国イージス社の買収を完了（100%子会社化）。
電通グループは、世界110の国・地域に拠点を持つ、新たなグローバルネットワークに。



【補足】 イージス社連結の影響（B/S）

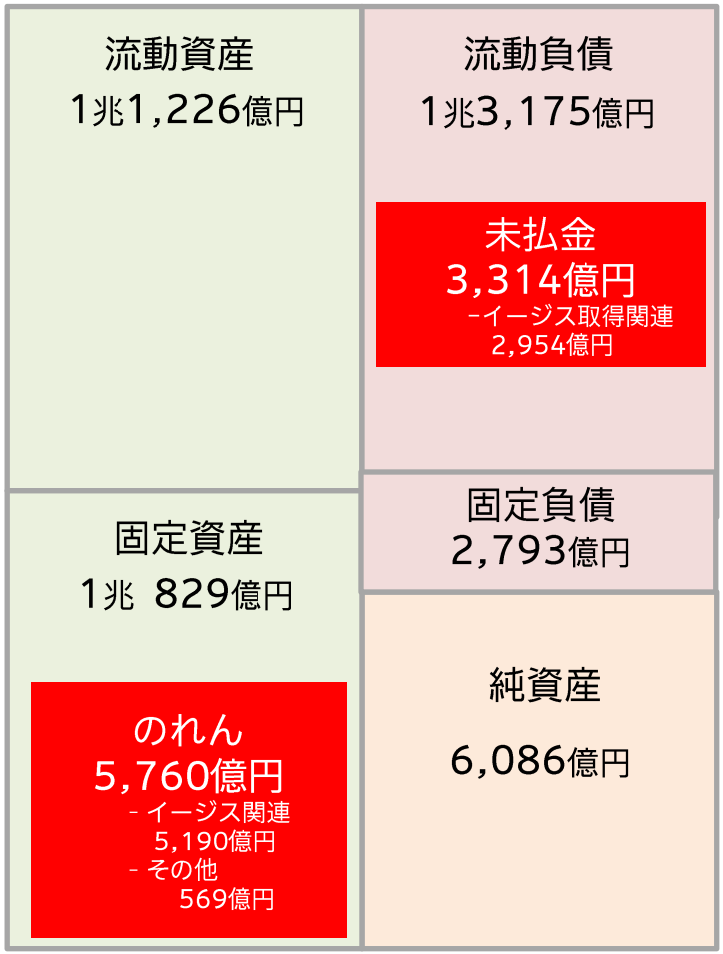
dentsu

【2012年3月末（前期末）】



総資産1兆2,018億円

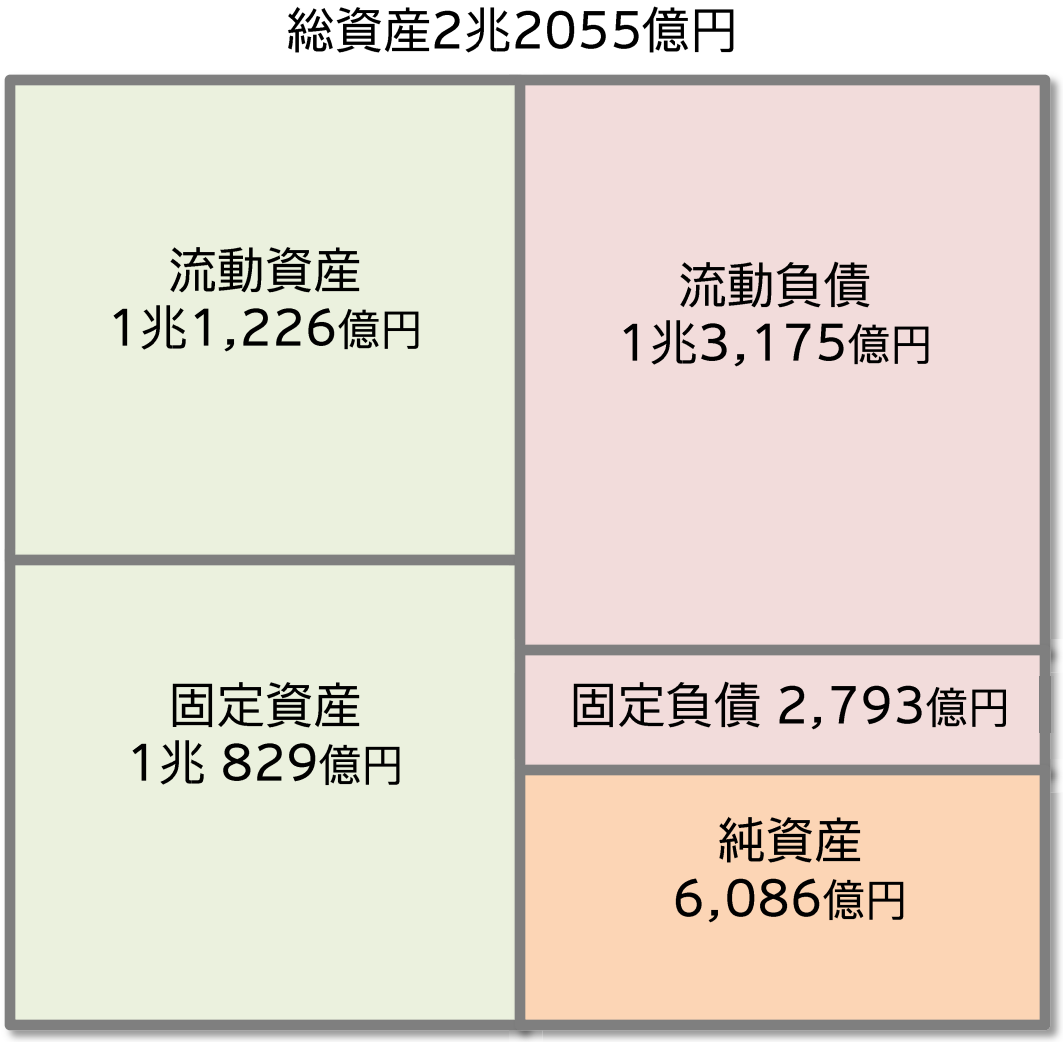
【2013年3月末（当期末）】



総資産2兆2,055億円

＊イージス関連のれんは当社買収分に加え、イージス社が元々保有していたのれんが加算されています。

【補足】 イージス社連結の影響（B/S）



イージス連結後、2012年度連結B/S

❖連結貸借対照表の状況

金額単位：百万円

連結貸借対照表より	2011年度（2012年3月末）	2012年度（2013年3月末）	前年同期末比増減（%）
流動資産	722,223	1,122,602	+55.4
固定資産	479,671	1,082,966	+125.8
資産（合計）	1,201,894	2,205,569	+83.5
流動負債	525,181	1,317,554	+150.9
固定負債	119,824	279,377	+133.2
負債（合計）	645,005	1,596,931	+147.6
株主資本	541,929	570,419	+5.3
その他の包括利益累計額	△5,638	14,076	-
少数株主持分	20,598	24,141	+17.2
純資産（合計）	556,889	608,637	+9.3
負債・純資産（合計）	1,201,894	2,205,569	+83.5

主な増減要因

❖資産について

- 現金及び預金の増加　（+316億円）
- 受取手形及び売掛金増加　（+3,248億円）
- のれん　（+5,316億円）

❖負債について

- 支払手形及び買掛金増加　（+3,712億円）
- 未払金の増加　（+3,222億円）
- 長期借入債務の増加　（+1,102億円）

❖純資産について

- 利益剰余金の増加　（+284億円）

《参考》

	2012年3月末	2013年3月末
自己資本比率	44.6%	26.5%
D／Eレシオ	0.16倍	※ 0.37倍

※イージス取得対価の未払金のうち2600億円は、2013年４月に借入金により支払いました。これを反映するとD/Eレシオは0.81倍になります。

❖連結キャッシュ・フローの状況

金額単位：百万円

キャッシュフロー計算書より	2011年度	2012年度 対前年同期増減額
営業活動によるキャッシュフロー	26,397	83,295 +56,898
投資活動によるキャッシュフロー	45,941	△ 51,236 ▲ 97,177
財務活動によるキャッシュフロー	△ 27,331	△ 5,349 +21,982
現金及び現金同等物の増減（換算差額等含む）	43,140	30,616 ▲ 12,523

主な内容	
・税金等調整前当期純利益	+633億円
・減価償却、のれん償却	+185億円
・売上債権など流動資産の増減	+162億円
・仕入債務など流動負債の増減	+88億円
・法人税等支払額	△199億円
・有価証券等の売却	+260億円
・有価証券等の取得	△ 275億円
・連結子会社株式等の取得	△ 317億円
・為替オプションによる支出	△52億円
・配当金支払	△79億円
・リース債務の返済	△ 15億円
・長期借入による収入	+56億円

※キャッシュの増（+）　キャッシュの減（△）

❖通期の連結業績見通し

金額単位：百万円

2013年度	上期見通し (4～9月累計)	下期見通し (10～3月累計)	年度見通し
売　上　高	1,081,400	1,202,000	2,283,400
前年同期比増減（%）	＋ 17.4	＋ 17.8	＋ 17.6
売 上 総 利 益	266,000	305,800	571,800
前年同期比増減（%）	＋ 63.5	＋ 66.8	＋ 65.3
営　業　利　益	13,800	44,700	58,500
前年同期比増減（%）	▲ 37.6	＋ 23.0	＋ 0.1
経　常　利　益	12,700	46,000	58,700
前年同期比増減（%）	▲ 35.8	＋ 17.2	▲ 0.6
当期純利益(損失)	△ 2,300	21,400	19,100
前年同期比増減（%）	-	▲ 20.7	▲ 47.4

《参考》

のれん等償却前営業利益	34,500	65,600	100,100

❖中期経営計画：業績見通しの対比

dentsu

2009年に発表した5ヶ年計画（中期経営計画）では、以下の3項目を数値目標として発表しました。当初目標と2013年度連結業績見通しを対比し、ご報告します。

	中期経営計画 2013年度目標	2013年度業績見通し	（参考：イージス除く）
営業利益	700億円	585億円 ▲115 億円	651億円 ▲49 億円
オペレーティング・マージン	20%	10.2% ▲9.8ポイント	17.4% ▲2.6ポイント
ROE	8%	3.2% ▲4.8ポイント	5.3% ▲2.7ポイント

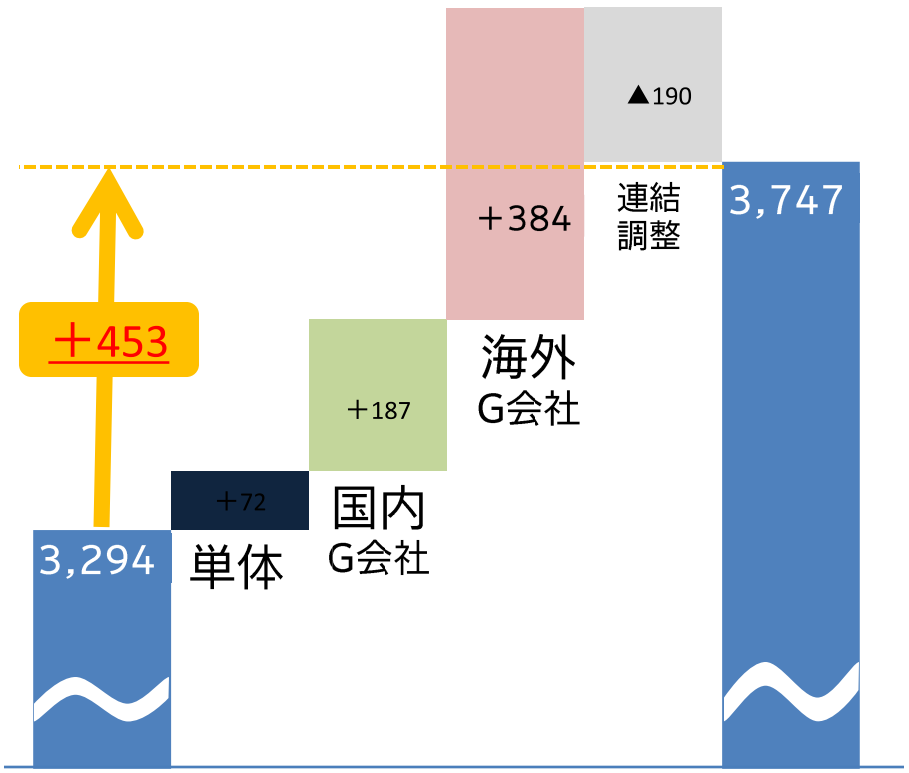
【参考】中期経営計画、目標未達成の要因

dentsu

●イージス社買収の影響を除く当初想定に対し、売上総利益では453億円上回る。
●しかし、事業拡大やM&A等を積極的に推進したため、主に人件費など販管費が505億円増加。
⇒結果、当初想定に対し、**連結営業利益は49億円未達、オペレーティング・マージンも2.6ポイント及ばない。**

売上総利益

（単位：億円）

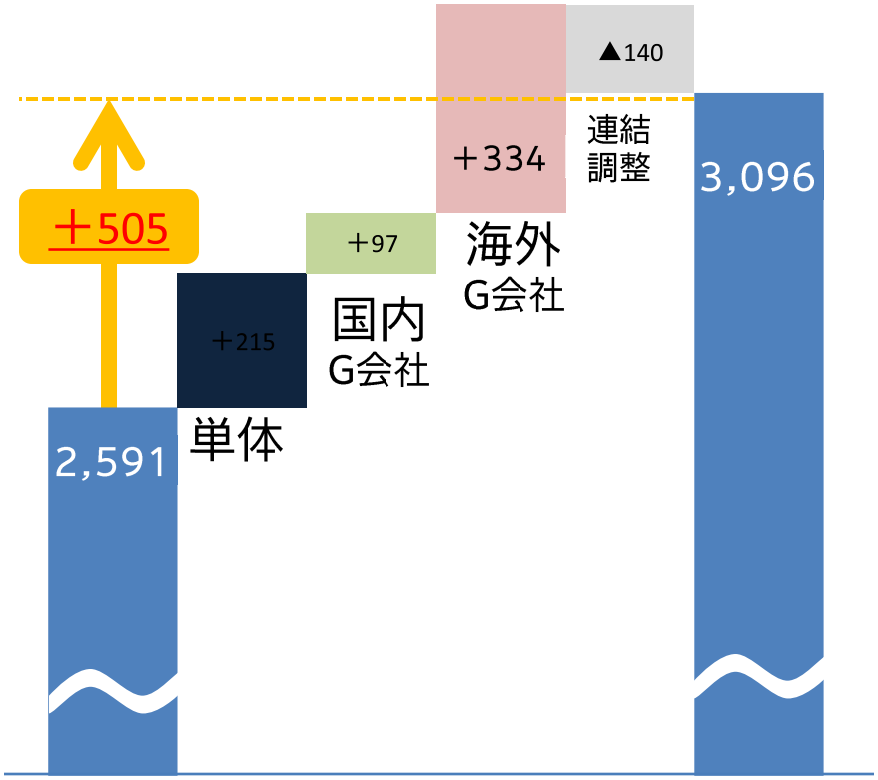


当初想定
計画策定時に想定した2013年度数値

2013年度見通し
※イージス買収効果を除く。

販　管　費

（単位：億円）



当初想定

2013年度見通し
※（同左）

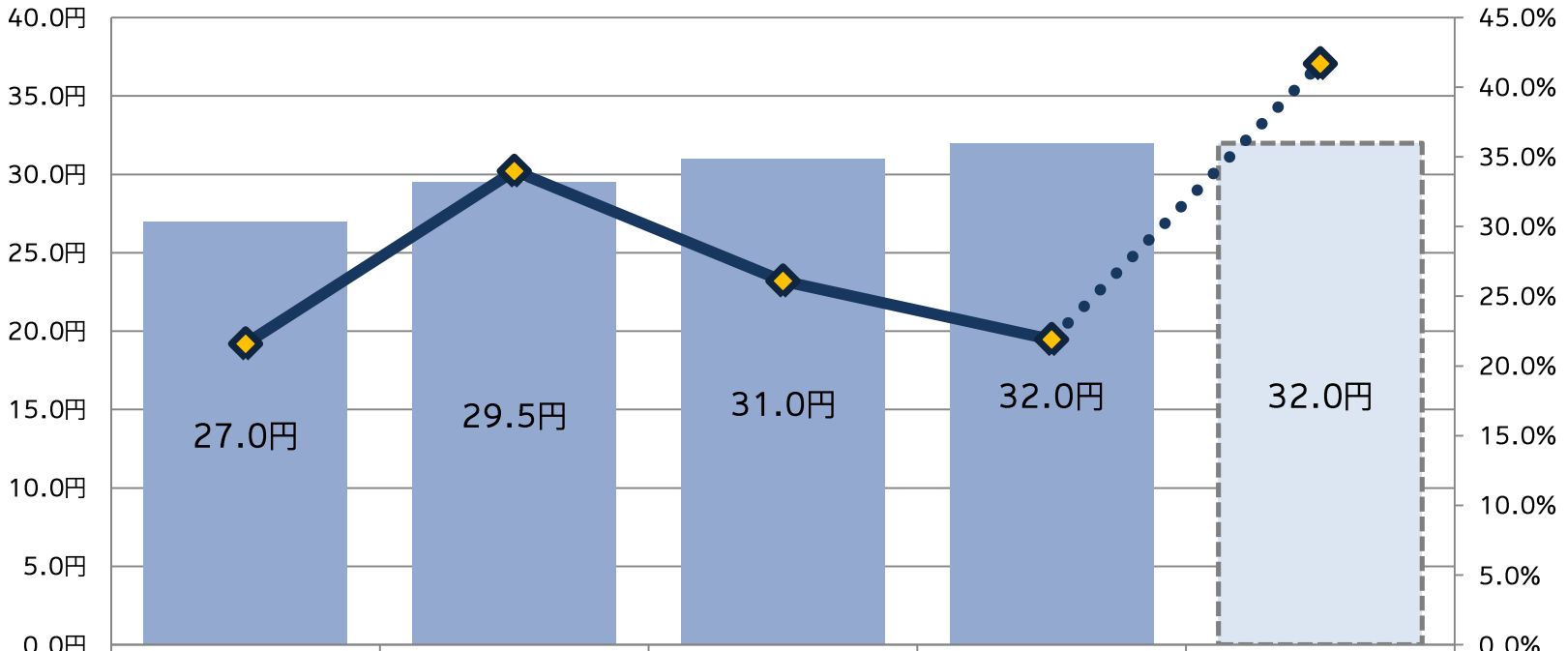
【参考】この5ヶ年の成長について：数値上の総括

	2008年度 実　績	2013年度 見込み※注	増　加　分 （年平均成長率）
売　上　総　利　益	3,144億円	3,747億円	＋602億円 （＋3.6%）
営　業　利　益	431億円	651億円	＋219億円 （＋8.6%）
オペレーティング・マージン	13.7%	17.4%	＋3.6ポイント
R　　O　　E	△4.0%	5.3%	＋9.3ポイント

※注：2013年度の業績見通しから、イージス買収効果を除外した数値。

❖配当について

dentsu



	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度E
1株当たり配当	27.0円	29.5円	31.0円	32.0円	32.0円 ※
配当性向	21.6%	34.0%	26.1%	21.9%	41.7% ※

【参考】

年間配当金総額	67.2億円	73.4億円	77.2億円	79.2億円	79.2億円
中間配当	12.5円	14.5円	15.0円	16.0円	16.0円
期末配当	14.5円	15.0円	16.0円	16.0円	16.0円

※2013年度Ｅ：１株当たり配当額は見込み。配当性向(%)は、1株当たり配当額 （32円）÷ 1株当たり当期純利益（連結業績見通し） × 100　により算出。